

西暦 2021 年 6 月 9 日

脳ドパミントランスポーターシンチグラフィ検査を受けたことがある患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

当診療科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究及び治療で得られた試料及び情報（以下、臨床情報という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨床情報の利用停止のほか、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、「⑤ 問い合わせ先」へご連絡ください。

研究名：脳ドパミントランスポーターシンチグラフィにおける脳室マスク補正が定量性に及ぼす影響の調査

研究実施期間：倫理審査委員会承認日 ～ 西暦 2024 年 3 月 31 日

山形大学医学部倫理審査委員会承認番号：2021-09 号

(承認日 西暦 2021 年 6 月 9 日)

① 対象となる患者さん（研究の目的、臨床情報の利用目的及び利用方法）

期間：2017年3月1日～2021年3月31日

対象：当院にて脳ドパミントランスポーターシンチグラフィ検査を受けた方

脳ドパミントランスポーターシンチグラフィは、脳内の黒質線条体の変性するレビー小体型認知症やパーキンソン関連疾患に対し、ドパミン神経の変性・脱落の程度を評価する検査です。画像解析では、顕著な脳室拡大を伴った場合、解析結果に影響する場合があります。その影響を解析から除外した補正（脳室マスク補正）法を検証することです。

本研究は、脳ドパミントランスポーターシンチグラフィの画像データを用い、脳室マスク補正法の有無での線条体への薬剤取り込み量を評価することが目的です。本研究結果は論文にて報告する予定です。

② 利用する臨床情報

正常圧水頭症と診断された脳ドパミントランスポーターシンチグラフィ画像データ・MRI画像データ

※患者さん個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、本研究から患者さんの個人情報流出することはありません。なお、研究の成

果を公表するときにおいても個人情報が出漏することはありませんので、患者さんに危険や不利益が生じることはありません。

③ 誰が使用するか(研究実施施設及び責任者(利用する者の範囲、臨床情報の管理責任者))

研究実施機関の名称：山形大学医学部附属病院

研究責任者：鹿戸 将史(山形大学医学部 放射線医学講座)

利用する者の範囲

氏名：大場 誠 所属機関：山形大学医学部附属病院放射線部 職名：診療放射線技師

氏名：小林 良太 所属機関：山形大学医学部精神医学講座 職名：講師

④ 研究への利用をやめてほしい場合

患者さんはいつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。

⑤ 問い合わせ先

臨床情報利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

山形大学医学部附属病院 放射線部 核医学検査室

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

連絡先：TEL 023-628-5792

E-mail：m-ohba@med.id.yamagata-u.ac.jp

担当者：大場 誠